

小山田小

2026年5月29日

3号

町田市立小山田小学校

校長 俵田 隆良

042(797)1824

<http://www.machida-tky.jp/e-oyamada/>

温かいご声援を！小山田小運動会 2026

副校長 小林 智之

初夏のさわやかな風が小山田小の芝生の校庭を吹き抜ける季節となりました。明日は子供たちが楽しみにしていた運動会を開催いたします。

今年度の運動会スローガンは、「赤も白も全力で楽しんで思い出にのこる運動会にしよう」です。子供たちは、この日のために毎日練習に一生懸命取り組んできました。

昨年度までとは内容を一部変更し、今年度は3年生以上が学年ごとに表現種目に取り組みます。はじめは思うように動けなかったり、友達と息を合わせることに苦労したりする様子も見られましたが、練習を重ねる中で、互いに声を掛け合い、励まし合いながら取り組む姿が多く見られるようになってきました。

また、徒競走や係活動など、それぞれの場面で自分の役割を果たそうと頑張る子供たちの姿が見られます。運動会を通して、勝敗だけでなく、努力することの大切さや仲間と協力する喜びを感じてほしいと願っています。

当日は、子供たちが練習の成果を十分に発揮できるよう、温かいご声援をお願いいたします。また、準備や運営等にご協力いただきます PTA 役員の皆さま、保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。

運動会での経験が、子供たちの自信や成長につながり、今後の学校生活への意欲へと広がっていくことを期待しております。

さて、私は教職に就くまでは、金融機関の法人営業部門で勤務し、多くの方と出会いながら、契約締結や顧客開拓、営業社員の採用・育成などの職務を遂行してきました。今さら申し上げるまでもなく現実の社会は大変厳しく、荒波の、激動の社会であると、自分自身肌で感じてきました。決して遠くない将来、そんな現実社会の中で、保護者の皆さまの大切な子供たちが生きていくこととなります。そのためには、社会耐性をしっかりと身に付けて、社会の荒波に飲み込まれず、自分自身を見失わず、力強く自己実現できる能力を身に付けさせていかなければなりません。

学校生活は楽しいこともたくさんありますが、学校という一つの社会集団での生活においては、子供たちは我慢をしなければならないことも当然たくさんあります。そういう我慢もする経験とともに、日々の生活や学習、友達との関わりの中で、「やってみてよかった。」「できるようになってよかった。」という本校学校経営方針にもある「喜び」や達成感、成功体験を子供たちにたくさん積み重ねさせたいと思います。一人一人の子供たちが「自分はやればできる！」という自己有用感を育ていけるよう、教職員が一丸となって指導と支援に努めてまいります。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくをお願いいたします。